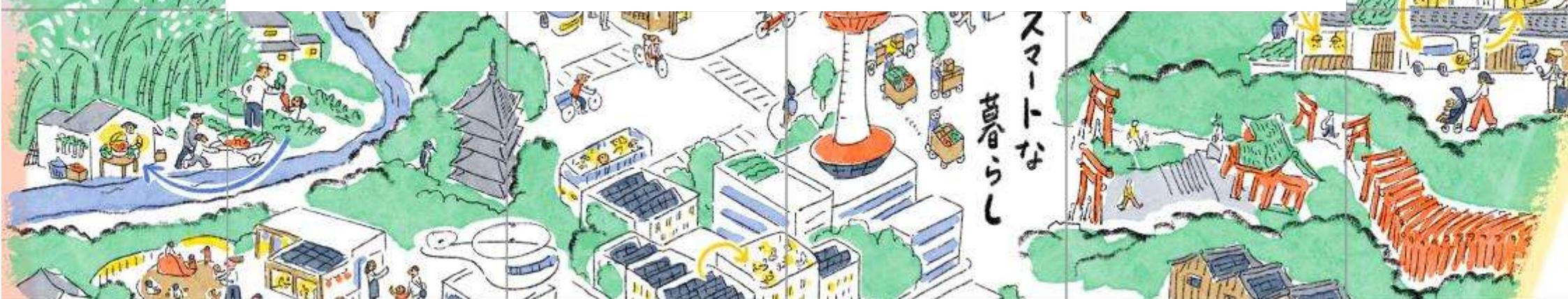




令和6年3月26日 14時～16時半

# 京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム ～2050京創ミーティング～ 第6回会議

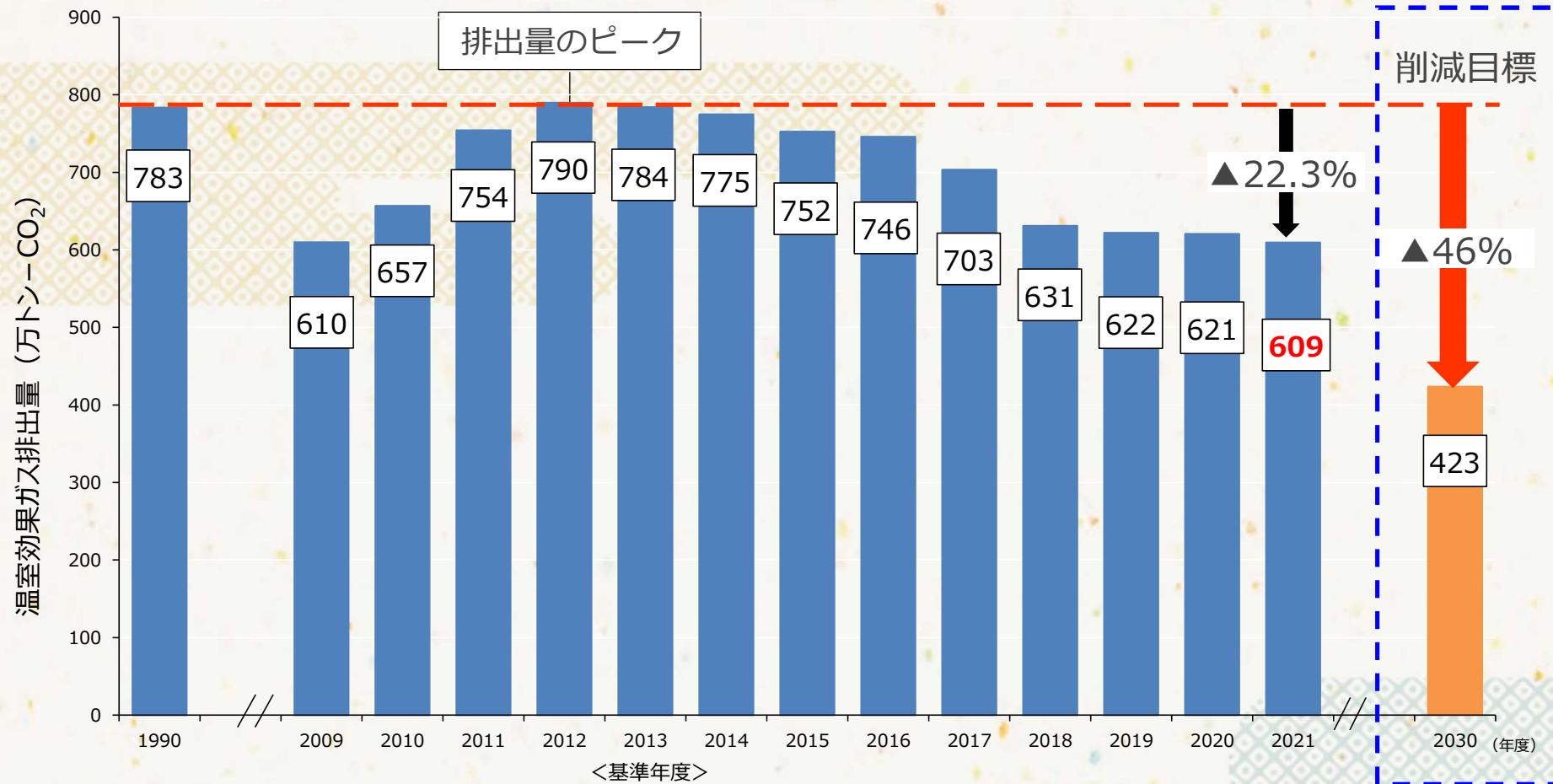


# 本日の流れ

14 : 00	開会 - 挨拶（京都市 田中地球環境・エネルギー担当局長）
14 : 10	今年度の成果の共有 • 発信（5分） • 市民参加を促すための取組（10分） • プロジェクト等（35分） - プロジェクトメンバーよりコメント（20分）
15 : 20	今後の取組（15分）
15 : 35	休憩（5分）
15 : 40	• 意見交換（25分） • 皆様から一言（25分）
16 : 30	閉会 - 挨拶（京都市環境保全活動推進協会 新川理事長）

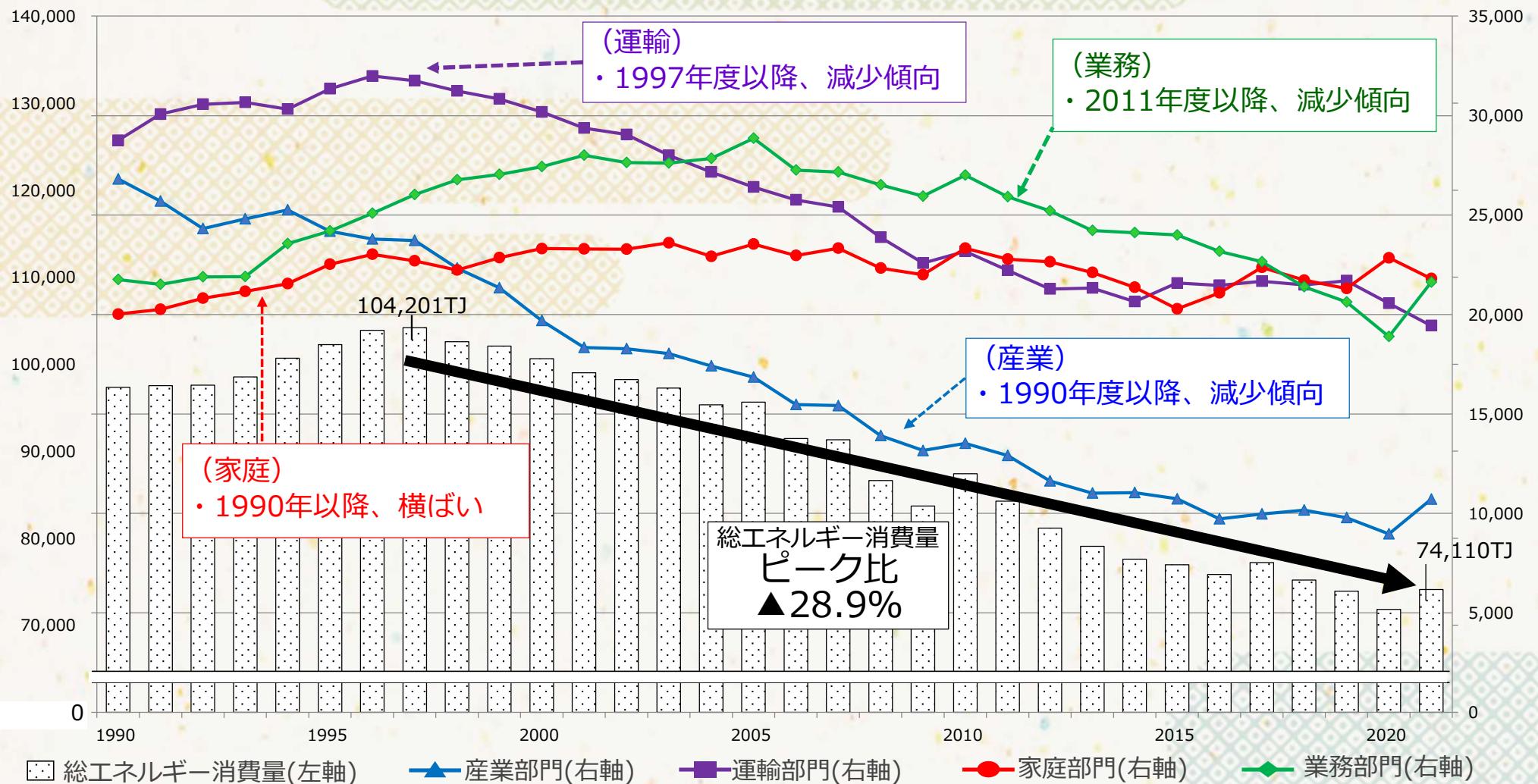
# 令和3年度温室効果ガス排出量

温室効果ガス排出量：609.3万トン-CO<sub>2</sub>



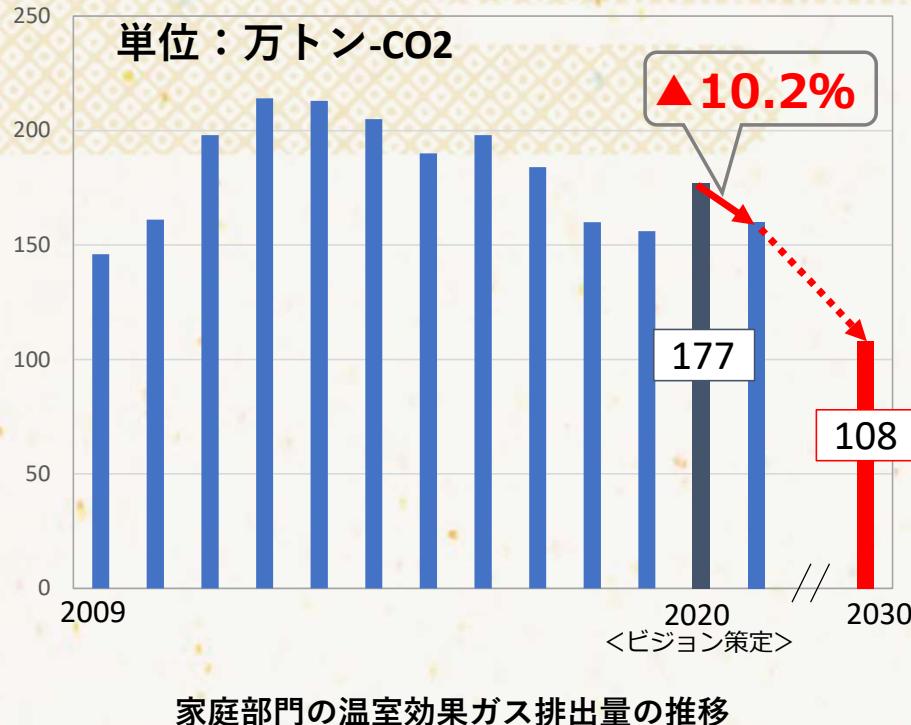
# 令和3年度のエネルギー消費量

**エネルギー消費量：74,110TJ**

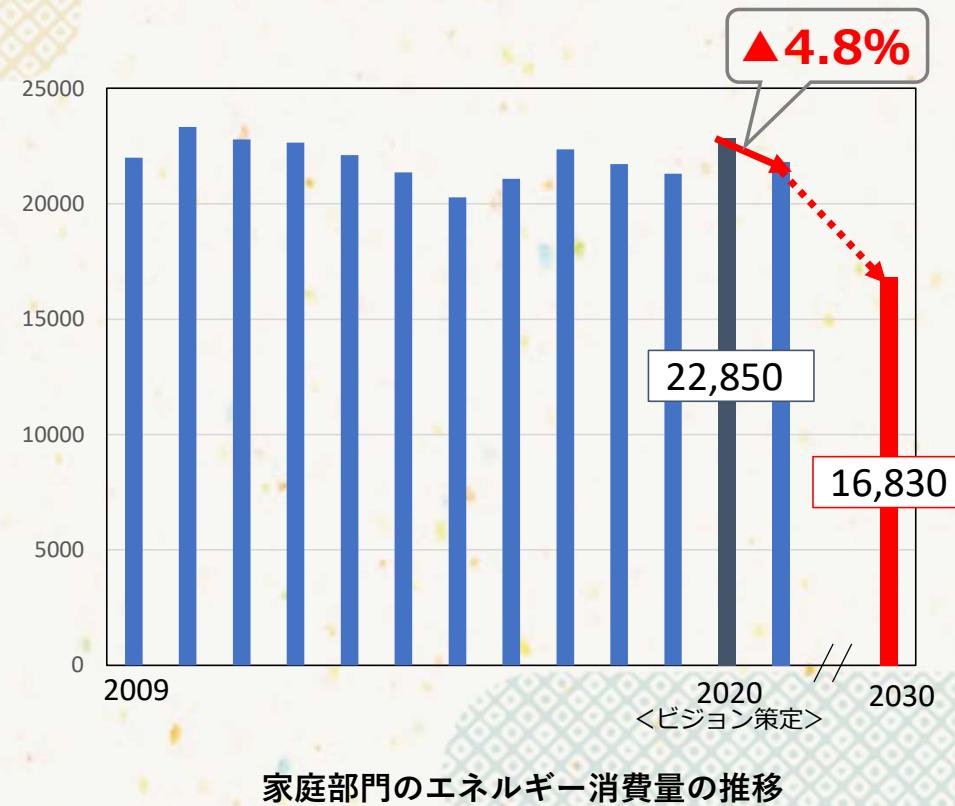


## 京創ミーティングの目標

1世帯当たりCO<sub>2</sub>排出量  
▲39.1%(2020年度比)



1世帯当たりエネルギー消費量  
▲25.8%(2020年度比)



# 発信 -HP「2050 MAGAZINE」

CO<sub>2</sub>削減効果の見える化する機能を追加しました！



消費行動・住まい・  
つながりの3分野で、  
脱炭素行動に関する  
質問に回答

- ・ライフスタイル全体のCO<sub>2</sub>削減効果を計測
- ・「リーダー・優等生型」等、5段階にタイプ診断
- ・実践の参考となるアクションやプロジェクトを紹介

インタビュー記事等、日々更新！



News & Topics

イベント情報 2024.03.13

4/7(日) 循環フェス@梅小路公園を開催！

インタビュー7件  
News&Topics45件  
今年度投稿！



HPとSNS等の閲覧数  
約27万PV

※令和6年3月12日時点

## 発信 - 各広告メディア

市バス



毎月16日は、ノーマイカーデー



市バス約700台で貼替を実施！

市政広報板



地下鉄



※ポスターはイメージ  
現在調整中！

脱炭素ライフスタイルのビジョンの普及、アクションの実践を、一層広めていく

## 市民参加を促すための取組① 市民ワークショップの開催

6/3  
(土)



7/14  
(金)



9/30  
(土)



＜祇園祭ごみゼロ大作戦ボランティアリーダー対象＞カードゲーム「2050カーボンニュートラル」体験会

【参加者】 87名

【内 容】

カードゲームを体験し、脱炭素社会の実現に向けた具体的な行動を学ぶ

※ 祇園祭ごみゼロ大作戦と連携

＜京都大学の大学生対象＞  
脱炭素ライフスタイルの転換を考えるワークショップ

【参加者】 44名

【内 容】

地域社会で食に関する脱炭素ライフスタイルを広げていくため、行政や事業者は、どのような解決策を実施すべきか考える

※ 推進チームの吉野先生の授業と連携

＜洛西高校の高校生と一般対象＞  
カードゲーム「脱炭素まちづくりカレッジ」体験会

【参加者】 15名

【内 容】

カードゲームを体験し、脱炭素社会の実現に向けた具体的な行動を学ぶ

※ 洛西高校の洛西Linksと連携

## 市民参加を促すための取組① 市民ワークショップの開催

10/8  
(日)



＜焚き火ボランティア対象＞  
脱炭素ライフスタイルの転換を考える作戦会議

【参加者】 27名

【内 容】

「焚き火イベント」ホストのアーティスト小山田氏と京都大学藤原准教授による対談と意見交換

※ ロームシアター京都主催イベントと連携

11/1  
(水)

1/17  
(水)



＜龍谷大学の大学生対象＞  
DO YOU KYOTO ? 2050 アイデアソン

【参加者】 45名

【内 容】

ファッショニロスを解決するためのアイデアを考える

【講師】

(株)ヒューマンフォーラム代表  
岩崎氏

※ 龍谷大学眞鍋ゼミと連携

2/12  
(月)



＜市民対象＞伏見連続講座「コーヒーと気候変動」

【参加者】 16名

【内 容】

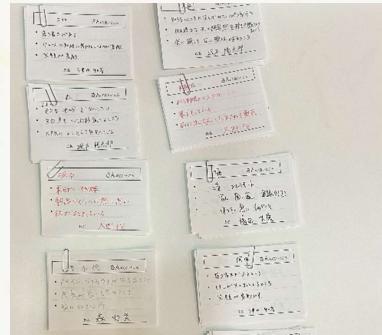
地域社会で食に関する脱炭素ライフスタイルを友人や家族に広げていくために必要な働きかけを考える

【講師】

RE:ARTH代表 倉橋氏

## 市民参加を促すための取組② 市民ライターによる情報発信（市民ライター養成講座）

- ・観光ガイドブック「d design travel」を発行するD&DEPARTMENT PROJECTと連携
- ・「もののまわり」という手法で、京都の歴史や風土を活かし、地球環境に配慮しながら、ものづくりに取り組むつくり手を取材し、その長く続く生産活動の理由を掘り下げ、記事にして紹介（10名参加）
- ・記事は「2050 MAGAZINE」で公開



ワークショップの様子



# 市民のライフスタイルをよりCO<sub>2</sub>の排出が少ないものへ転換していくための取組

## R5年度プロジェクト一覧

消費行動		住まい		つながり	
1 使用済衣服の回収＆循環プロジェクト 「RELEASE↔CATCH」	<input type="radio"/>	1 つながりを感じられる住まいづくり（京都の冬は寒くないプロジェクト）	<input type="radio"/>	1 京都脱炭素ツーリズムのHUB創設	<input type="radio"/>
2 四条通をサステナブルのシンボルへ	<input type="radio"/>	2 賃貸マンションの再エネ電気切替促進		2 環境配慮型農業の実践	<input type="radio"/>
3 里山や地域循環について知る機会の創出	<input type="radio"/>	3 実証実験によるデータ収集・分析と発信	<input type="radio"/>	3 地域での生ごみ堆肥の活用推進	<input type="radio"/>
4 レスキュー野菜の地域での販売	<input type="radio"/>	4 省エネ家電購入促進に向けたナッジの活用【実証終了】	<input type="radio"/>	4 公園を活用したサーキュラーエコノミープロジェクト	<input type="radio"/>
5 アートやデザインを活用したアップサイクルの実施		5 住宅の省エネ・再エネ分を取りできる仕組み		<input type="radio"/> : 実証中、又は実証終了したプロジェクト <b>計13件</b>	
6 菜食対応のメニューを提供する店舗の見える化	<input type="radio"/>	6 賃貸住宅紹介時の省エネ性能の見える化			
7 環境負荷の見える化	<input type="radio"/>	7 断熱性能の良い家の体験の場づくり			
		8 中古家電・家具2Rプラットフォーム			

## 使用済衣服の回収&循環プロジェクト 「RELEASE↔CATCH」

- ・使用済衣服を回収し、地域内でリユースする仕組みを創出
- ・回収した衣服の無料提供など、衣服の回収と循環を体験できるイベント「循環フェス」を開催
- ・リユースの若者カルチャー醸成を目指す。環境教育も積極的に実施
- ・市内で古着事業を行う(株)ヒューマンフォーラムと地域企業をつなぐハブ的役割を担う京都信用金庫が中心で体制を構築



# 使用済衣服の回収＆循環プロジェクト 「RELEASE↔CATCH」

## 主なアウトプット

回収BOX  
**204か所**設置  
(約24t回収)

約**18,000点**販売  
(全国14店舗で販売)

**4回**循環フェス開催  
(延べ**40,500人**参加)

高校・大学等で講演  
延べ**407人**参加

## 取組によるCO<sub>2</sub>削減

**492.5t-CO<sub>2</sub>**

- ・ 使用済衣服の廃棄に係るCO<sub>2</sub>削減量  
(回収した衣服の量から算出)
- ・ 新規衣服の製造に係るCO<sub>2</sub>削減量  
(リユースされた衣服の量から算出)

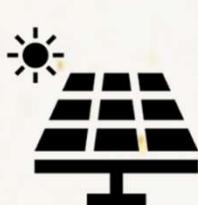
## 取組の広がり

- ・ 連携事業者・団体 **130団体**  
※循環フェス、回収BOX関連事業者等
- ・ その他  
R5年度京都環境賞（大賞）  
R4年、5年環境省モデル事業採択

## 四条通をサステナブルのシンボルへ

- ・消費行動の変容を促すことを目的に、京都の消費の代名詞といえる四条通をサステナブルのシンボルにする取組
- ・R5年度は、一般社団法人祇園祭ごみゼロ大作戦が主体となり、祇園祭の宵山における山鉾（油天神山、鷹山）の駒形提灯を、再生可能エネルギーを利用して点灯

①再エネ由来中心の電力による充電



②ポータブル蓄電池から給電



ポータブル蓄電池  
(EcoFlow Technology Japan株式会社)

③点灯



油天神山・前祭  
(提灯66個)

鷹山・後祭  
(提灯70個)



創電イベントの実施

## 四条通をサステナブルのシンボルへ

### 主なアウトプット

**2か所**

山鉾提灯の電力を  
再エネ化

創電イベント開催  
約**120人**参加

**4企業**

充電スポット  
として協力

### 取組の広がり

GOOD NATURE STATIONで、  
うつみ農園の規格外トマトを活用した  
ミックスジュースをCORNER MIXが  
販売！

### 今後の展望

R6年度「祇園祭ごみゼロ大作戦」と  
しての取組拡大に向け、企業と連携

## レスキュー野菜の地域での販売プロジェクト

- 生産や流通過程においてまだ食べられるのに廃棄されてしまう野菜「レスキュー野菜」を商店等の軒下販売や食品の材料として活用
- レスキュー野菜を活用した「レスキューミックスジュース」の商品開発及び店舗 (CORNER MIX)での販売
- 軒下青果店の実施店舗を拡大



## レスキュー野菜の地域での販売プロジェクト

### 主なアウトプット

4か所の軒下  
販売を実施

約750杯  
レスキューMixス  
ジュース販売

80kg  
レスキュー野菜  
の活用

SNSフォロワー  
約2000人

### 取組の広がり

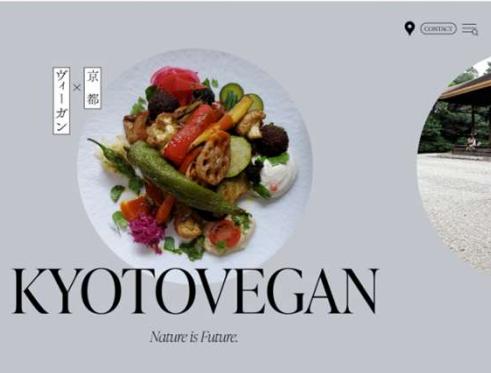
GOOD NATURE STATION POPUP等  
にてコラボ出店  
(洛北阪急スクエア店 等多数)

### 今後の展望

「おいしい」「かわいい」をきっかけ  
に、レスキュー野菜や脱炭素を知つて  
いただく機会を創出

## 菜食対応のメニューを提供する店舗の 見える化プロジェクト

- ・ 菜食を増やすことによる環境負荷の低減を目指す
- ・ [KYOTOVEGAN](#)サイトの多言語化と情報充実化によるリニューアル
- ・ 精進の観点で整理した「飲食」と「体験」の情報MAPの作成と登録会員の募集
- ・ 「京都ヴィーガンウォーキング」ツアー開発



HPリニューアル



三条商店会を中心とする「京都ヴィーガンウォーキング」ツアー



## 菜食対応のメニューを提供する店舗の 見える化プロジェクト

### 主なアウトプット

ホームページの  
**多言語化と  
情報充実化**

市内  
**312店舗**掲載  
(令和6年3月1日現在)

延べ**3本**  
モニターツアー  
企画実施

延べ**15人**  
ツアー参加

### 取組の広がり

- ・企業向けKYOTOVEGAN勉強会を実施
- ・今後関連しそうなステークホルダーに声掛け（飲食店・京都商工会議所・京都観光コンシェルジュ・京都信用金庫・京都銀行・JTB等）

### 今後の展望

- 会員獲得 個人店50・企業10／年
- ・ツアーリスト実施、30本／年
  - ・掲載数：350店舗
  - ・ミートフリーマンデー（仮）

## 環境負荷の見える化プロジェクト

- ・環境配慮商品・サービス等の普及に向けて、環境負荷の見える化を促進することを目的とする。
- ・Earth hacks(株)と連携し、市内企業の商品サービスのカーボンフットプリントを、既存商品と比較した「デカボスコア」として表示（R5年度は3商品表示）。



デカボスコア表示

## 環境負荷の見える化プロジェクト

### 主なアウトプット

#### 3事業者

デカボスコア表示  
(約50社に案内)

京都市役所にて  
**1か月間**展示

### 取組の広がり

- ・京商ECOサロンで、企業向けに商品の環境負荷の表示の勉強会を実施
- ・デカボスコア算出をきっかけに購入時にカーボンオフセットできるオプションの販売開始 ((株)イワタ)

### 今後の展望

デカボスコア表示の取組拡大に向けて、企業等と連携

## つながりを感じられる住まいづくり (京都の冬は寒くないプロジェクト)

- ・地域ぐるみでの面的な脱炭素ライフスタイルの実践、教育につなげることを目的に、学生寮やシェアハウスでの環境配慮活動の実践に取り組む。
- ・京都精華大学の学生寮「木野寮」をフィールドに「脱炭素プロジェクト」を発足。寮生による意見交換会や断熱改修に向けたワークショップ等を開催。



## つながりを感じられる住まいづくり (京都の冬は寒くないプロジェクト)

### 主なアウトプット

延べ**48名**  
寮生がPJに参加

**計4回**  
PJ関連イベント開催

### 取組の広がり

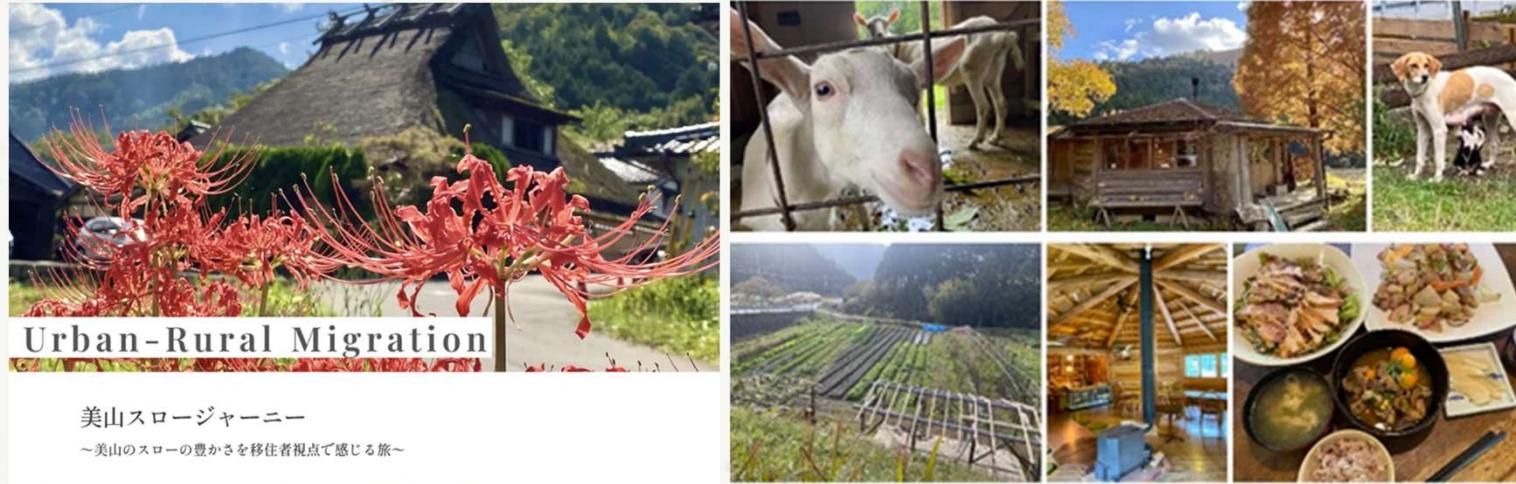
- ・地元のホームセンターと、断熱改修ワークショップ開催に向けた取組連携を検討
- ・寮内に古着回収BOXを設置

### 今後の展望

- ・木野寮の断熱改修に向けて、京都精華大学の建築学科と連携を検討
- ・今後、国の補助金等を活用した取組の拡大を目指す

## 京都脱炭素ツーリズムのHUB創設

- ・京都の脱炭素な取組をツアーを通じて広めていくことを目的に、市内での脱炭素に関する取組を集約し、学びながら取組とつながることができる場を提供
- ・環境負荷が低く、人とつながり、地域に貢献するとともに、自分自身のライフスタイルも変えていく旅“スローツーリズム”的モデルツアー「京都スロージャーニー」を実施



## 京都脱炭素ツーリズムのHUB創設

### 主なアウトプット

延べ**35名**  
ツアー参加者

### 取組の広がり

#### ツアー実施協力者の拡大

- ・京和傘 日吉屋さん
- ・世界的ファシリテーター ボブさん
- ・ABD 竹之内さん
- ・京都美山の知的案内人 吉永さん

### 今後の展望

- ・京都市 観光協会／観光MICE推進室との連携
- ・脱炭素ツーリズムのモデルとして、スロージャーニーを定期運営する。

## 京都脱炭素ツーリズムのHUB創設

(スロージャーニー 参加者アンケートより)

- ・自分自身の暮らしから、周りの地域のことが、ひいては大きな環境につながっているのだとあらためて考えました。脱炭素、環境問題は、自分が日々どこで何を買い、どう働き、どういう地域を大事にしていくのかにつながっていることを改めて感じました。
- ・日常があることへの感謝の思いと自分自身と向き合う時間が大切なことに気づくことができました。私にとって旅という価値が更に深いものになりました。これからはあらゆるものを消費する旅ではなく、自分自身や旅先、そして地球がより豊かになる旅をしていきたいと思います。
- ・妙心寺での禅寺修行体験をさせていただきました。とても貴重で自分の人生にインパクトのある体験となりました。個を減して環境や他者のための行動を取るという究極の枠組みの中で時間を過ごすことによって学び気づくことが多々ありました。
- ・今までの生活で、便利なことや効率的なことに慣れすぎたのかもしれませんと感じました。ちょうど自身のキャリアやライフスタイルを見直す機会に参加することができたので、今までの惰性や流れに引っ張られず、一人の市民として暮らし方や働き方を改めて考えたいと感じました。

## 環境配慮型農業の実践

- ・トラクターの脱炭素化、再エネ電気への転換、生ごみ堆肥の活用等、環境に配慮した脱炭素型農業モデルを構築・発信
- ・令和5年度は、市民・飲食店を対象とした農業体験の場づくり及び移動販売による地産地消を推進



## 環境配慮型農業の実践

### 主なアウトプット

延べ**41名**に  
出前学習会を実施

延べ**194名**  
「さつまいも栽培体験」  
に参加

### 取組の広がり

2050年CO<sub>2</sub>ゼロ『どこでもトーク』

実施団体

- ・京都市立南保育所
- ・京都橘大学
- ・コミュニティ・スペースSacula

### 今後の展望

- ・ソーラーシェアリング開始
- ・生ごみ堆肥場やバイオマストイレ設置
- ・堆肥や液肥を活用した市民向けの体験農園を実施
- ・イベントで関心を持った方が継続的に取り組める場づくり

## 地域での生ごみ堆肥の活用推進

- ・生ごみ堆肥を介した地域の資源循環モデル「ごみカフェ KYOTO モデル」。家庭で出る生ごみをバック型のLFCコンポストを使って堆肥化し、地域の店舗や公園で回収、地域内の農地や公園で活用
- ・堆肥持参者にはまちづくり通貨「京都祭コインCOMO」を付与
- ・企業がコンポスト導入する事例も生まれる

※本プロジェクトは日新電機グループ社会貢献基金からの寄付をいただき運営



## 地域での生ごみ堆肥の活用推進

### 主なアウトプット

回収イベント開催**31**回

SNS登録者約**300**名

たい肥回収量**1015.1**kg

生ごみ削減量**5,985**kg

**5**名

たい肥アドバイザー

### 取組の広がり

延べ**100**企業連携（祭コイン含む）

- ・株式会社ヒューマンフォーラム
- ・株式会社ジェイ・エス・ビー
- ・株式会社フラットエージェンシー 他多数

2050年CO<sub>2</sub>ゼロ『どこでもトーク』

### 実施団体

- ・京都市立三条保育所
- ・京都市立京都工学院高校
- ・NPO法人京都カラスマ大学

### 今後の展望

- ・洛西地域と連携した取組の推進
  - 住民へのLFCコンポスト配布、共同農園を作る
  - 空き部屋の活用
- ・地域での脱炭素コミュニティづくりPJ
- ・アーバンファーミングPJとの連携

# 出前学習会「2050年CO<sub>2</sub>ゼロどこでもトーク」



脱炭素ライフスタイルを広げるため、京創ミーティング関係者が講師として活躍！



ファッションロス、  
古着の回収と再循環の仕組み  
講師：(株)ヒューマンフォーラム



生ごみから美味しい  
野菜をつくるコンポスト  
講師：ごみカフェKYOTO



夏涼しく冬暖かい！  
窓の遮熱・断熱を知ろう  
講師：(有)ひのでやエコライフ研究所



伝統産業とサステナビリティ  
講師：堤淺吉漆店



親子で家庭菜園教室  
講師：(株)中嶋農園



再生可能エネルギーで  
CO<sub>2</sub>排出ゼロの未来を  
講師：たんたんエナジー(株)



詳細はこちらから

# プロジェクトオーナーからの声

岩崎仁志さん（株式会社ヒューマンフォーラム）

プロジェクト：使用済衣服の回収＆循環プロジェクト「RELEASE↔CATCH」

## ■よかつたコト

- ・京創ミーティングの中に入ることで、京都市さんの**オフィシャル事業的な立場**で、話をできること。イチ民間事業者ではリーチできない公共の施設(市立高校、大学など)や、上場企業などとも接点が持てたのが、よかつた。
- ・当プロジェクトと親和性の高い団体さんなどを積極的にお繋ぎ頂き、一緒に何かできそうな仲間と関係が作れた。
- ・循環フェスの出店者紹介や、運営プランティアさんの確保、当日の準備運営などに置いてもサポート頂き、シンプルに助かった
- ・地下鉄駅内にポスター掲示、2050magazin、市民しんぶんなど**広報面のサポート**など助かった
- ・まとめるわけではありませんが、自治体と事業者同士で協力して何かを進めていくカタチのようものができてきてているのかな？と思いました。

## ■要望

- ・引き続きですが、公共の施設(市立高校、大学など)や、地域事業者、上場企業などとの接点があると、お互いのタイミング次第になるのですが、目的や利害が一致したときに、インパクトあるアクションに繋がりそうなので、継続してリーチし続けておきたい。
- ・飲み会やオフ会など、自治体×事業×学校(学生)×市民など、ざっくばらんに交流できる場があるといいのかなと思う。今より、少しだけ近い関係になれる場の設計というイメージです



# プロジェクトオーナーからの声

野村宏美さん（パタゴニア京都）

プロジェクト：四条通をサステナブルのシンボルへ

## ■プロジェクト参加によるメリット、デメリット（改善点）

- ・自社だけではなかなかアプローチできない領域へ飛び込めるきっかけやチャンスがある。
- ・京都の一事業者として地域の方々と一緒にプロジェクトを作り関わることができる機会で大変うれしく、また横のつながりを持つことができ普段のビジネス上でもとても有効である。

## ■今後、京創ミーティングに求めること

- ・脱炭素社会を目指した地域社会での活動を生み出していく中で、そこから地域の気候変動政策として提案するところまで持ち上げることのできる場になること。

## ■脱炭素ビジネスの課題と広げるための方策

- ・気候危機への取り組みは地球に生きるすべての人間にとて必須の行為であり、解決のための時間的余裕がありません。個々の取り組みはもちろん大切ですが、より強く推進し、影響力を出していくためには社会の仕組みが必要で、そのためには行政の協力が必要不可欠と考えています。地域オリジナルの条例などができるれば、脱炭素ビジネスのサポートや地域の脱炭素活動が盛んになると思います。



# プロジェクトオーナーからの声

玉木千佐代さん（合同会社KYOTOVEGAN）

プロジェクト：菜食対応のメニューを提供する店舗の見える化

## ■よかつたところ

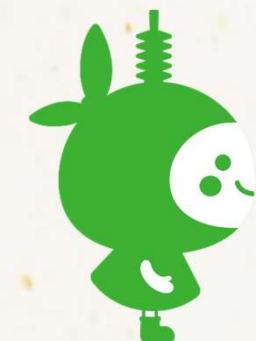
- ・ 海外の方にも褒めていただけるKYOTOVEGANのイメージでサイトデザインして頂けて、ヴィーガン事業がよりしやすくなった。事業の相談が気軽にできたこと、情報をたくさん頂けたこと。
- ・ 様々なカテゴリーの方とアイディアを揉んで頂けたことで、ビジネスの新しい視点を持てた。新たなつながりができて活動の場が広がった。
- ・ 京創ミーティングが色々な方を巻き込んでいける場であることがとても良かった。  
これからも参加者を増やしたい。

## ■反省点

- ・ 広がった場とアイディアを実行可能に時系列にまとめていくスキルを伸ばさないといけない。

## ■要望

- ・ 事業者間をまたいだカーボンニュートラルなど、脱炭素で繋がる新しい関係性があると嬉しい。



# プロジェクトオーナーからの声

橋本浩和さん（株式会社フラットエージェンシー）

プロジェクト：つながりを感じられる住まいづくり（京都の冬は寒くないプロジェクト）

## ■成功体験、気づき、うれしく感じたこと、苦労話、課題、改善、要望

- 参加学生を集めることや課題感を持って参加してもらうことが苦労しました。

## ■プロジェクト参加によるメリット

- プロジェクト開始の背中を押してもらえたことで、行動することができました。
- また、たくさんのステークホルダーと関わって成長することができました。

## ■今後、京創ミーティングに求めること

- 色々な方と繋いでもらうこと。情報提供などを引き続きよろしくお願ひいたします。

## ■脱炭素ビジネスの課題と広げるための方策 等

- 室内や外壁など建物を改修するための金額の補助等



## 令和6年度プロジェクト – 消費行動WG

	名称	内容
1	使用済衣服の回収＆循環プロジェクト「RELEASE↔CATCH」	<ul style="list-style-type: none"> <li>RELEASE↔CATCH 回収拠点の拡大、拠点ごとの回収量増加</li> <li>回収した衣服の再販、活用促進 ※令和6年9月 実証終了</li> </ul>
2	四条通をサステナブルのシンボルへ	<ul style="list-style-type: none"> <li>四条通の再エネ電気切替を目指し、祇園祭の駒形提灯再エネ化の取組拡大</li> </ul>
3	里山や地域循環について知る機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果の取りまとめ（循環ツアーロゴを活用し、関連プロジェクトをまとめる）と発信 ※令和6年10月 実証終了</li> </ul>
4	レスキュー野菜の地域での販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果の取りまとめ（CORNER MIX、軒下青果店）と発信 ※令和6年12月 実証終了</li> </ul>
5	アートやデザインを活用したアップサイクルの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>3芸大（市立芸大・京都芸大・精華大）が連携した「ごみサミット」の開催を検討</li> </ul>
6	菜食対応のメニューを提供する店舗の見える化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヴィーガン提供店舗（KYOTOVEGAN会員企業）の拡大</li> <li>KYOTOVEGANマンナーの実施や勉強会の開催を通じた普及啓発</li> </ul>
7	環境負荷の見える化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>デカボスコア算出商品の拡大</li> </ul>
8	Doプロジェクト (Do Repairs, Do Refill) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リペアやリフィル等の環境に配慮した行動「DO ●●」を広げるDO企画を実施 (パタゴニア京都周辺のアウトドアブランドやアースデイ等との連携)</li> </ul>

## 新規プロジェクト：Doプロジェクト（Do Repairs、Do Refill）

目的

環境に配慮したアクションを「Do企画」としてイベント等を開催し、行動変容を促進する。

方法

- ・「Do Repairs」：パタゴニア京都周辺のアウトドアブランドと連携して、リペアイベントを実施
- ・アースデイ等と連携し、Do企画（Do Repairs、Do Refill）を実施

メンバー

野村（パタゴニア京都）、太田（地域環境デザイン研究所ecotone）



パタゴニア：WORN WEAR (<https://wornwear.patagonia.jp/event/>)

# 令和6年度プロジェクト -住まいWG

	名称	内容
1	つながりを感じられる住まいづくり (京都の冬は寒くないプロジェクト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生寮やシェアハウスの住民グループによる環境配慮活動の実施</li> <li>成果の取りまとめ（木野寮プロジェクト）と発信</li> <li>京都精華大学 デザイン学部 建築学科との連携について検討 ※令和6年10月 実証終了</li> </ul>
2	賃貸住宅紹介時の省エネ・再エネ性能の見える化 <small>新</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度「2 賃貸マンションの再エネ電気切替促進」と「6 賃貸住宅紹介時の省エネ性能の見える化」を統合</li> <li>窓断熱・再エネ電気等の情報発信</li> </ul>
3	実証実験によるデータ収集・分析と発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの収集について検討</li> <li>成果の取りまとめ（住まいに対する環境意識のアンケート調査等）と発信 ※令和7年2月 実証終了</li> </ul>
4	断熱性能を体験できる場づくり <small>新</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度「6 断熱性能の良い家の体験の場づくり」を断熱化の過程も含めた体験の場づくりとして再構築</li> <li>改修予定の物件での断熱ワークショップの開催や断熱物件の体験会を開催</li> </ul>
5	住宅の省エネ・再エネ分を取引できる仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>DRによるDXを活用した行動変容について検討（サブグループ）</li> </ul>
6	中古家電・家具 2Rプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生マンション退去時の家具・家電のリユースを、リサイクル業者と連携して実施し、リユースによるCO<sub>2</sub>削減量を推計</li> </ul>

# 新規プロジェクト：賃貸住宅紹介時の省エネ・再エネ性能の見える化

**目的** 賃貸住宅の省エネ及び再エネ性能を見える化することで賃貸住宅の性能向上を目指す

○省エネ性能の見える化

国の建築物省エネ法に係る省エネ性能表示の努力義務化（R6年4月）に伴い、「第三者認証（BELS）による省エネ性能表示」かつ「断熱性能の高い」賃貸住宅について、優良事例として発信

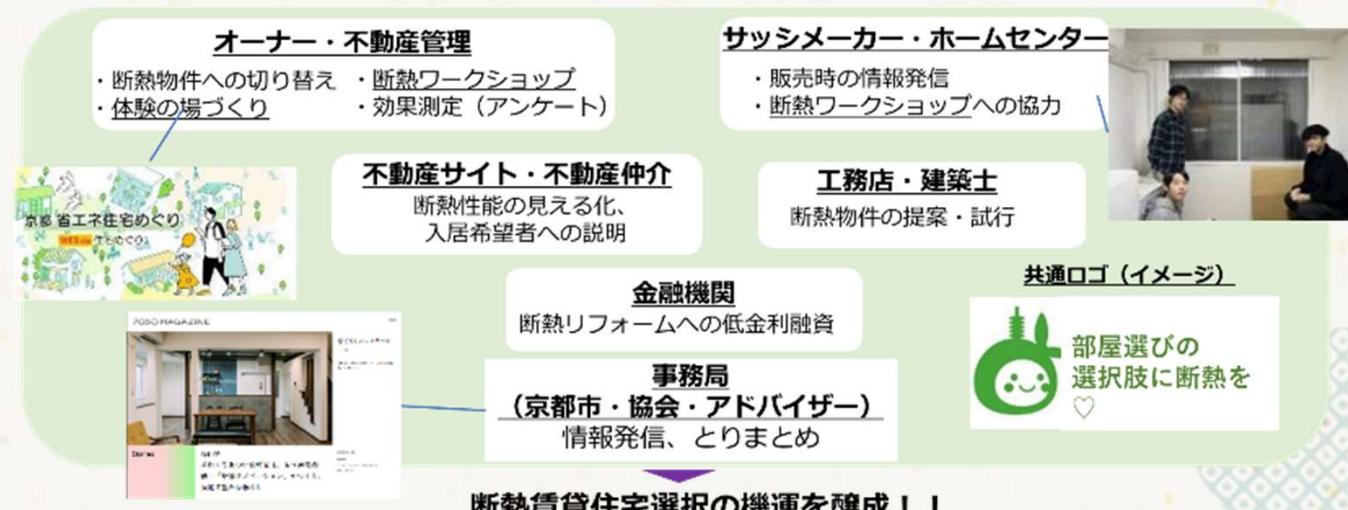
○ステークホルダー連携による機運醸成

- 方法**
- ・関連するステークホルダーの参画プラットフォームづくり
  - ・各参画企業が取組を実施。事務局が発信（共通ロゴ）

○賃貸住宅オーナーへの働きかけ

- ・賃貸オーナーにとってのメリットをまとめた資料を作成し情報提供する
- ・賃貸オーナーや入居者に対する断熱改修に関するアンケート調査を実施する

**メンバー** 丸屋、鵜沢（株）ジェイ・エス・ビー）、鈴木（（有）ひのでやエコライフ研究所）



# 新規プロジェクト：断熱性能を体験できる場づくり

目的	古民家や既存物件での断熱WSを通じて、断熱化に対するニーズや機運を高める。
方法	<ul style="list-style-type: none"><li>WSを通じて、参加者が断熱の良さや方法を体験する。</li><li>宿泊、シェアオフィス及びカフェ等の商業施設化予定の古民家や既存物件を対象とする（顧客化・関係人口化を目指す）。</li><li>断熱化を進める地域工務店等がWSの講師となり、連携することで、施工者側の機運を醸成</li><li>断熱効果の見える化の実践や、環境配慮材料（市内産木材、古材、自然建材）の活用を推進</li></ul>
メンバー	杉田（一般社団法人「for Cities」共同代表）、岩崎（マガザン）、山見、工務店
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"><li>以下対象物件での断熱ワークショップの実施</li><li>対象物件：①浄土寺（京都市左京区）の新アートスペース②マガザンの新事務所</li><li>工務店候補：「京都らしい省エネ住宅」に取り組む事業者</li></ul>

(浄土寺の新アートスペース)



## 令和6年度プロジェクト -つながりWG

	名称	内容
1	京都脱炭素ツーリズムのHUB創設	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素ツーリズムHUBを立上げ、脱炭素ツーリズムを認定・PR</li> <li>スロージャーニーの定期運営 ※令和7年2月で実証終了</li> </ul>
2	環境配慮型農業の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民向け体験農園での、環境負荷の低い農業を体験する場づくり</li> </ul>
3	地域での生ごみ堆肥の活用推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都祭コインの利用拡大（学生マンションや大学の授業でコインを配布。脱炭素関連の店に限定して使用することで環境意識の向上や行動変容に繋げる。）</li> <li>コンポストアドバイザーの活躍の場づくり ※ 令和6年7月で実証終了</li> </ul>
4	公園を活用したサーキュラーエコノミープロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市林業の実践の場づくり（公園の未開園地を活用した選定枝や伐採木の循環。会員制サブスクリプションによる研修や人材育成の事業化を検討。）</li> </ul>
5	アーバンファーミング <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業保有地等を畠として活用することで、アーバンファーミングを実践（市内中心部で実施予定）</li> </ul>
6	地域での脱炭素コミュニティづくり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洛西ニュータウンの市営団地でのコンポスト導入支援（希望者にLFCコンポストを配布、生ごみ回収会の実施）</li> <li>洛西地域での竹が炭化する過程で発電する事業の検討 ※「3 地域での生ごみ堆肥の活用推進」の発展プロジェクトとして検討中</li> </ul>

## 新規プロジェクト：アーバンファーミング

目的

市内で都市農業を広げることで、コミュニティで自然環境に親しむ機会を創出する

方法

空き地を活用した都市型農園を京都のまちなかに増やしていく

メンバー

高橋・河村（ごみカフェKYOTO/京都祭コイン副業人材メンバー）  
前田（京都市ソーシャルイノベーション研究所）



## 新規プロジェクト：地域での脱炭素コミュニティづくり

### 目的

洛西地域をフィールドに、脱炭素ライフスタイルに関わるコミュニティを創出し、その取組を市内他地域へと広げる

- 洛西エリアにおいて、脱炭素なコミュニティ作りを進める  
※ 都市計画局住宅室との連携
  - 住民にLFCコンポスト配布、共同農園を作る
  - 放置竹林を使った発電や炭の製造を行い、地域内でエネルギー循環
- 各活動における祭コインの活用

### 方法

メンバー 中田 (株)夢びと)





プロジェクトメンバーより  
コメントをいただきたいと  
思います。

## 今後の取組（案）－令和6年度予算案

### 令和6年度予算案：19,000千円

#### ①京都発脱炭素ライフスタイルのビジョン等の発信

事業内容：・市バス、地下鉄と連携した発信  
・「DO YOU KYOTO ? 2050」推進企業プラットフォーム（案）に係るHPコンテンツの追加 等

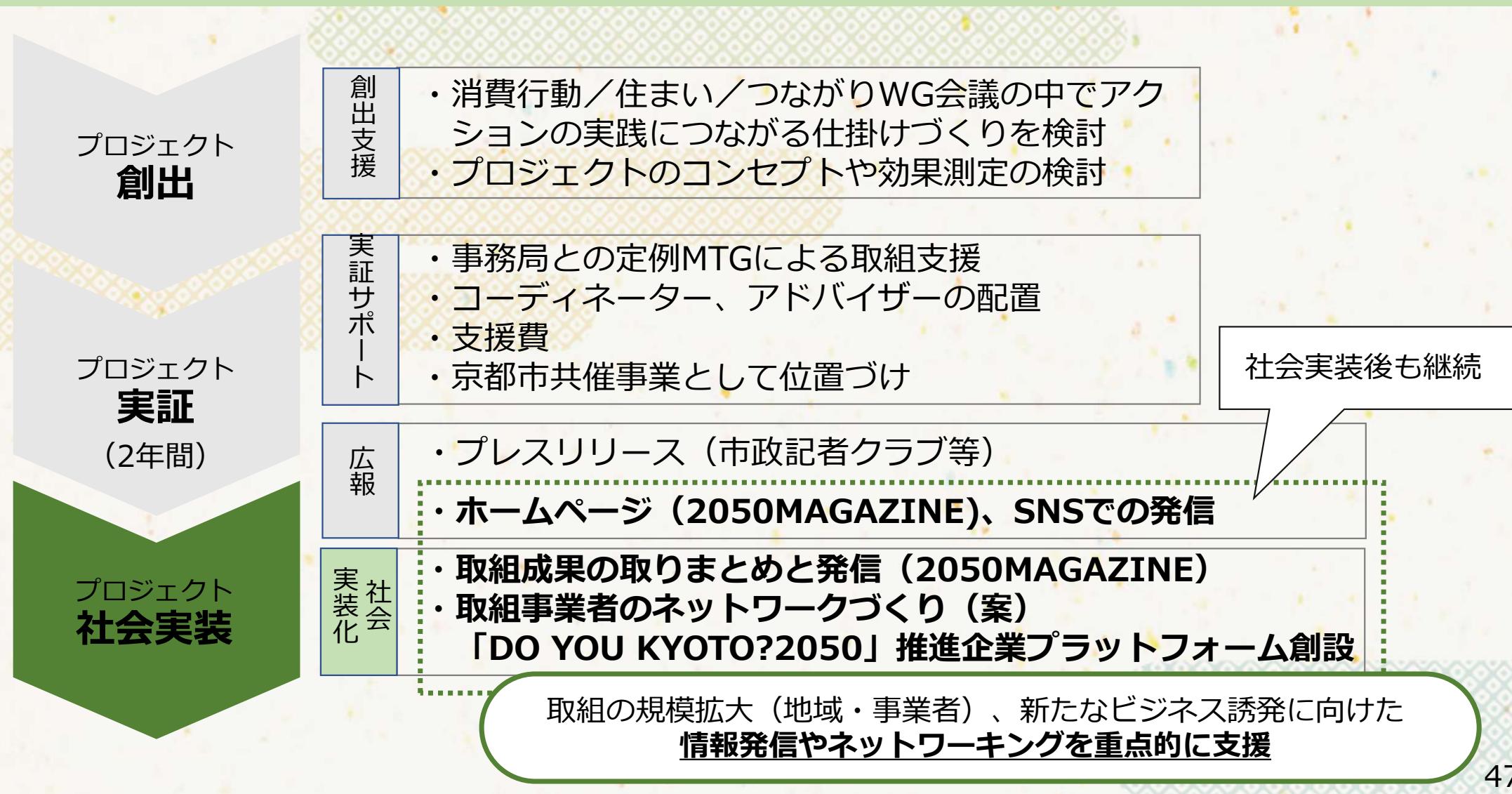
#### ②企業等連携によるプロジェクトの創出及び実証支援

事業内容：・プロジェクトの実証支援  
・成果の整理及び発信 等

#### ③市民ワークショップ等の普及啓発の開催

事業内容：ワークショップやアイデアソンの開催 等

# 今後の取組（案）－実証支援終了プロジェクトの社会実装に向けた支援について



## 今後の取組（案）－「DO YOU KYOTO?2050」推進企業プラットフォーム（仮称）の創設

### 「DO YOU KYOTO ? 2050」推進企業プラットフォーム（仮称）

事業活動を通じて脱炭素を推進するとともに、脱炭素ライフスタイルのビジョンを市民に呼び掛け、アクションの実践を促していくための企業プラットフォーム

（参加企業の取組内容）

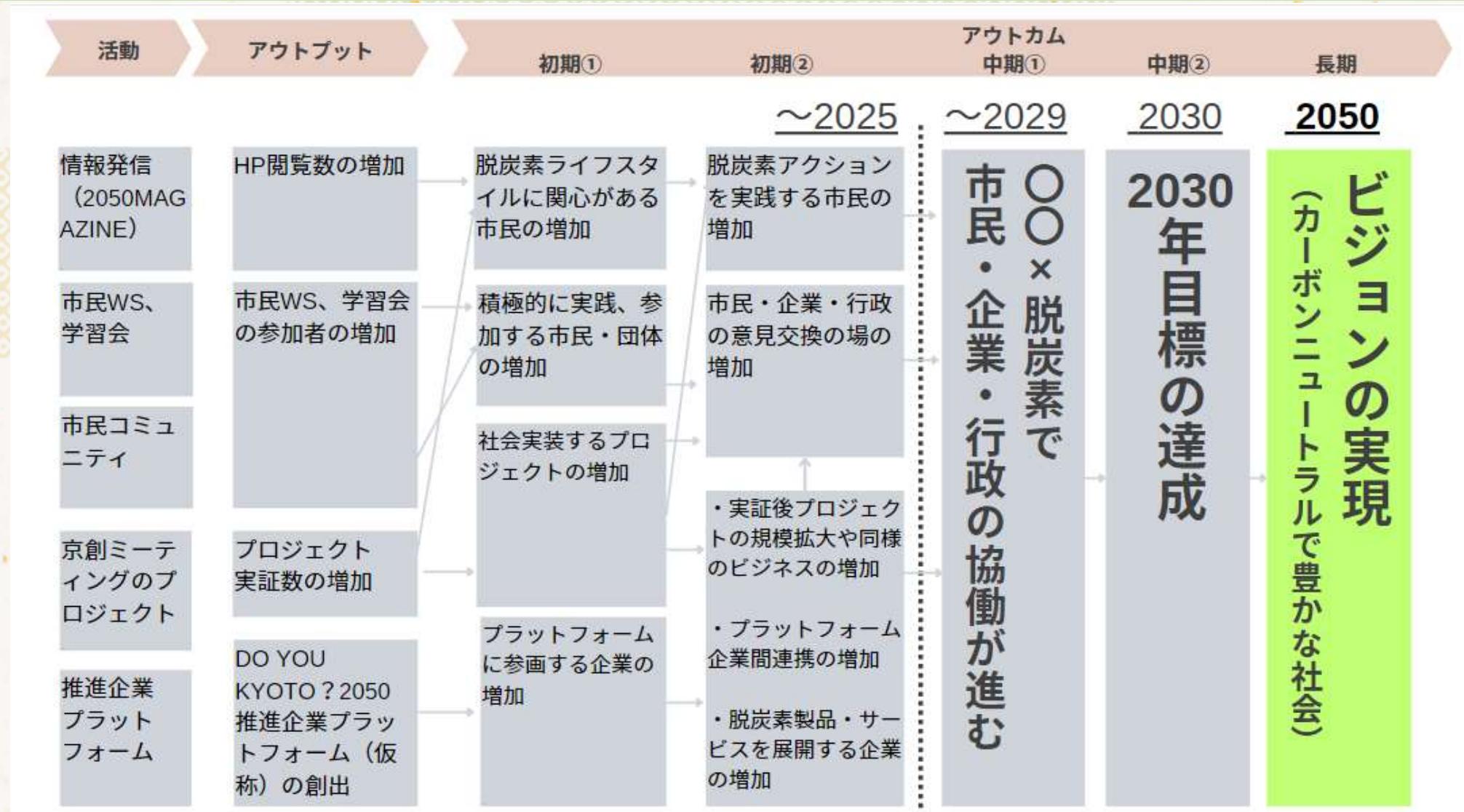
- アクション実践に資する実証済プロジェクト関連（それ以外も）の製品・サービスを提供又は協力
- 事業活動の中で脱炭素アクション（ノーマイカーデー等）を実践
- 地域での環境活動
- 社員への脱炭素アクションの実践呼び掛け

参加企業名や取組をHP  
に掲載

連携・共創する機会の  
創出  
※ネットワーキングフォーラム  
開催

製品サービスやイベント  
を様々な媒体で発信・  
紹介

## 今後の取組（案）－ソーシャルインパクトを活用した進捗管理（案）



## 今後の取組（案）－ソーシャルインパクトを活用した進捗管理（案）

ステークホルダー	アウトカムの種類	詳細アウトカム	指標	測定方法
市民	初期アウトカム①	脱炭素ライフスタイルに関心がある市民の增加	関心層の割合	市民を対象としたアンケート調査
		積極的に実践、参加する市民・団体の増加	参加する市民数	業務データ
	初期アウトカム②	脱炭素アクションを実践する市民の増加	脱炭素アクションの実践率（アクション別）	市民を対象としたアンケート調査 ※アクション別に集計
		市民、企業、行政の意見交換の場の増加	意見交換の場の数	・業務データ ・庁内照会
企業	初期アウトカム①	社会実装するプロジェクトの増加	社会実装するプロジェクトの数	業務データ
		DO YOU KYOTO ? 2050推進企業プラットフォーム（仮称）への参画企業数の増加	参画する企業の数	業務データ
	初期アウトカム②	実証後プロジェクトの規模拡大、同種のビジネスの増加	・参画企業数 ・同種のビジネスの数	業務データ
		プラットフォーム企業間連携の増加	企業連携数	・業務データ ・事業者向けアンケート調査（仮）
		脱炭素製品・サービスを展開する企業の増加	脱炭素製品・サービスを展開する企業の数	・業務データ ・事業者向けアンケート調査（仮）
共通	中間アウトカム①	市民、企業、行政の協働により、取組が進む	協働により生まれた行政施策数	業務データ
	中間アウトカム②	2030年目標の達成	世帯当たりCO <sub>2</sub> 排出量/世帯当たりエネルギー使用量	京都市GHG
	最終アウトカム	ビジョンの実現	温室効果ガス排出量	京都市GHG



脱炭素ライフスタイルを実践する動きが  
一層広がっていくことを目指して、

**市民、企業、行政の協働による  
取組が進むためには、どのような  
場があればよいと思いますか？**

**意見交換タイム**



脱炭素ライフスタイルを実践する動きが  
一層広がっていくことを目指して、

**御意見やアドバイス、今後の  
ご自身の活動等について、  
一言お願いします。**

**ご参加ありがとうございました！**

